

いちよしファンドラップ専用投資信託 内外債券

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第2期(決算日2016年11月16日)

作成対象期間(2015年11月17日～2016年11月16日)

| 第2期末(2016年11月16日) | |
|-------------------|-----------|
| 基準価額 | 9,173円 |
| 純資産総額 | 14,480百万円 |
| 第2期 | |
| 騰落率 | △ 3.5% |
| 分配金(税込み)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の方法により閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記のホームページの「投資信託」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「いちよしファンドラップ専用投資信託内外債券」は、このたび2016年11月16日に第2期の決算を行いました。

当ファンドは、内外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

いちよしアセットマネジメント

東京都中央区日本橋茅場町2丁目13番11号

<照会先>

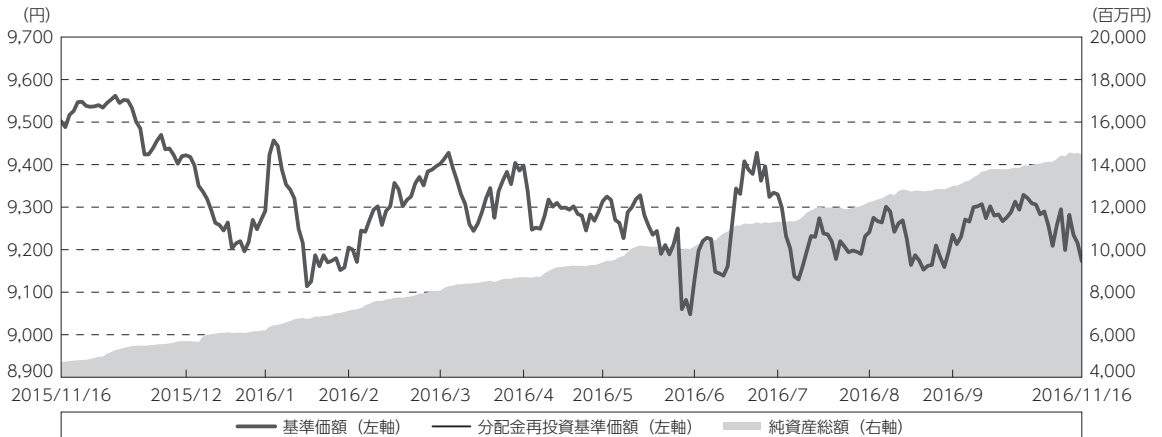
電話番号：03-3639-8411

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時まで)
ホームページ：http://www.ichiyoshiam.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年11月17日～2016年11月16日)



期首：9,502円

期末：9,173円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 3.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年11月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

前期末9,502円の基準価額は、当期末に9,173円となり、騰落率は-3.5%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、内外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。当期は、日本国内はじめ世界の債券市場は現地通貨建てでは総じて上昇しましたが、海外債券につきましては、大幅に円高となった為替が値下がり要因となりました。

期中における基準価額の主な変動要因である、組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

・組入投資信託の状況

| 組入投資信託証券 | 投資対象資産 | 前期末 組入比率 | 当期末 組入比率 | 前期末 との差 | 当期中 騰落率 |
|---|---------|-------------|-------------|------------|------------|
| ノムラFOFs用インデックスファンド・国内債券（適格機関投資家専用） | 国内債券 | 9.2% | 9.3% | +0.1% | +3.8% |
| ニッセイ日本物価連動国債ファンド（適格機関投資家専用） | 国内債券 | 17.1% | 17.6% | +0.5% | -0.4% |
| ニッセイ国内債券アクティブファンド（適格機関投資家専用） | 国内債券 | 6.0% | 6.1% | +0.1% | +4.0% |
| ノムラFOFs用インデックスファンド・外国債券（適格機関投資家専用） | 海外先進国債券 | 3.8% | 6.0% | +2.2% | -10.4% |
| GS 外国債券コア・ファンド（少人数私募） | 海外先進国債券 | 12.7% | 9.7% | -3.0% | +2.3% |
| グローバル変動金利債券ファンド（年1回分配型）（適格機関投資家専用）円ヘッジありコース | 海外先進国債券 | 4.6% | 2.0% | -2.6% | +0.1% |
| グローバル変動金利債券ファンド（年1回分配型）（適格機関投資家専用）円ヘッジなしコース | 海外先進国債券 | 4.6% | 2.1% | -2.5% | -9.9% |
| LM・グローバル債券ファンド（適格機関投資家専用） | 海外先進国債券 | 4.8% | 3.4% | -1.4% | -12.4% |
| LM・米国債券ファンド（適格機関投資家専用） | 海外先進国債券 | 3.0% | 2.1% | -0.9% | -8.4% |
| ドイチェ欧州債券オープン（適格機関投資家専用） | 海外先進国債券 | 4.0% | 1.9% | -2.1% | -11.6% |
| MHAM豪ドル債券ファンド（適格機関投資家専用） | 海外先進国債券 | 5.2% | 5.9% | +0.7% | -2.0% |
| ノムラFOFs用インデックスファンド・新興国債券（適格機関投資家専用） | 新興国債券 | 7.4% | 14.6% | +7.2% | -6.6% |
| アライアンス・バーンスタイン・エマージング債券ファンドW（適格機関投資家専用） | 新興国債券 | 13.8% | 18.3% | +4.5% | -3.3% |

1万口当たりの費用明細

(2015年11月17日～2016年11月16日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------|------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 46 | 0.497 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (40) | (0.432) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (3) | (0.032) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (3) | (0.032) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 4 | 0.044 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.009) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷) | (3) | (0.029) | 法定開示資料の印刷に係る費用 |
| (管 理 ・ 運 営 費 用) | (1) | (0.005) | 法定書類の提出に係る費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 50 | 0.541 | |
| 期中の平均基準価額は、9,317円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

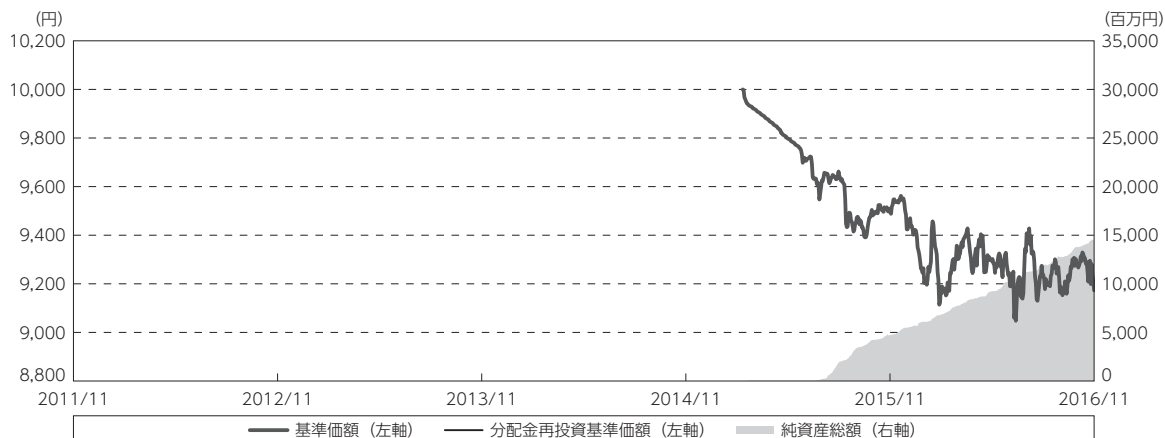
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年11月16日～2016年11月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2015年2月27日です。

| | 2015年2月27日 設定日 | 2015年11月16日 決算日 | 2016年11月16日 決算日 |
|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 9,502 | 9,173 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 5.0 | △ 3.5 |
| 純資産総額 (百万円) | 10 | 4,720 | 14,480 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2015年11月16日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2015年11月17日～2016年11月16日)

○国内債券市場

当期の国内債券市場は上昇し、NOMURA-BPI国債で+4.1%となりました。

期初は、フランスの同時多発テロから続く地政学的リスクへの懸念がぬぐえない中、米国が2015年12月に9年半ぶりの利上げに踏み切ったことや欧州の大手銀行の信用不安などから、相対的に安心感のある日本の債券が買われて全般に緩やかな上昇基調となりました。

2016年1月末には日銀がマイナス金利導入というサプライズ緩和を実施したことでさらに地合いが強まり、特にプラス金利の残る超長期ゾーンの国債を中心に買われて、全般に堅調な相場が続きました。

その後、6月に英国で欧州連合（EU）離脱（ブレグジット）の是非を問う国民投票が行われ、投票前からブレグジットリスクを嫌ったリスクオフの買いもありましたが、日銀による金融政策の修正が市場の追加緩和期待を下回ったことなどから相場は徐々に下げに転じ、長期国債の金利は0%近辺まで上昇（債券価格は下落）しました。

11月の期末にかけて米大統領選挙の見通しが不透明だったことなどから概ねこう着状態が続きましたが、トランプ氏が次期米大統領に決定した後はリスクオンの動きが優勢となり、債券相場はやや弱含みしました。

○海外先進国債券市場

当期の海外先進国債券市場は上昇し、シティ世界国債インデックス（米ドル建て 日本除く）で+0.7%となりました。

米国債券市場はシティ米国BIG債券インデックス（米ドル建て）で+3.2%、欧州債券市場はシティーユーロBIG債券インデックス（ユーロ建て）で+2.3%となりました（BIG：Broad Investment-Grade、国債以外の投資適格債券を含む）。

期初、2015年12月には米国で9年半ぶりとなる利上げがあつて金利は上昇（債券価格は下落）、一方欧州では追加金融緩和が決定されましたが市場参加者の期待を下回る内容だったことなどからこちらも金利が上昇しましたが、2016年1月以降は原油安の継続や世界的な景気減速懸念、欧州大手銀行の信用不安などから、先進国の金利は概ね低下（債券価格は上昇）傾向となりました。

その後は、経済が比較的堅調とみられる米国では再度の利上げを視野に金利が上昇傾向に転じましたが、欧州では3月に更なる追加金融緩和策が発表されたことなどから金利は一段と低下しました。

4月以降、原油価格の上昇基調が確認されるにしたがい金利は全般に上昇気味となりましたが、英国の国民投票で予想に反してブレグジット賛成派が多数を占めたことなどからマーケットは混乱、イタリアの銀行の不良債権懸念の再燃などもあり、相対的に安全性が高いとされる国債にリスクオフの資金が向かい金利が低下しました。

その後、米国やドイツの債券が買われる一方でイタリアは売られるなどまちまちの動きとなり、相場はしばらくもみ合いを続けましたが、米国次期大統領選挙でのトランプ氏の当選でインフレ期待が強まったことなどから、期末にかけて全般に金利は上昇（債券価格は下落）しました。

○新興国債券市場

当期の新興国債券市場は上昇し、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（米ドル建て

為替ヘッジなし) で+5.7%となりました。

新興国市場では、中国の経済失速懸念や下げ止まらない原油価格、さらに地政学的リスクなどが嫌気された2015年来のリスクオフの流れが続き、2016年年明けには中国株が急落したこともあって新興国債券もリスク資産として売られ、下げ基調が続きました。

しかし、2月に石油輸出国機構(OPEC)で原油の生産量凍結のサプライズ合意がされたことをきっかけに原油価格が底打ちしたことから相場は徐々にリスクオンの方向に向かい、長期下げ過ぎの修正ということもあって強い上昇基調となりました。2016年に複数回の利上げが予想されていた米国で、慎重な判断から見送りが重ねられたことも、リスクオンへの安心感につながりました。

期末にかけては、トランプ氏の米大統領選挙での当選後に米国の金利が上昇(債券価格は下落)したことなどもあり、新興国債券は再び調整局面となりました。

○外国為替市場

当期における米ドル円は11.0%の円高ドル安、ユーロ円は10.9%の円高ユーロ安となりました。組入投資信託のうち米ドル建てやユーロ建て等で海外資産に投資しているファンドにつきましては、為替の動きがマイナス要因となりました。

当期は、欧州では大手銀行の信用不安や経済の停滞感から金利を上げることは考えにくく、米国も利上げには慎重な姿勢をとっている一方で、日銀はこれ以上大きくは金融緩和ができないという見方が支配的となったことなどから総じて円高傾向が続き、一時は対米ドルで約100円の水準まで円が買い進まれました。

その後、2016年7月以降はしばらく円高水準でもみ合いとなりましたが、期末にかけて、トランプ氏当選後の米国金利の急上昇や欧州金融不安の一服もあり、米ドル円の為替は円安に転じ、1ドル110円近辺まで戻しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年11月17日～2016年11月16日)

○指定投資信託証券(投資対象ファンド)の見直し

当期間における指定投資信託証券(投資対象ファンド)の見直しは行いませんでした。

○投資対象ファンドへの投資の状況

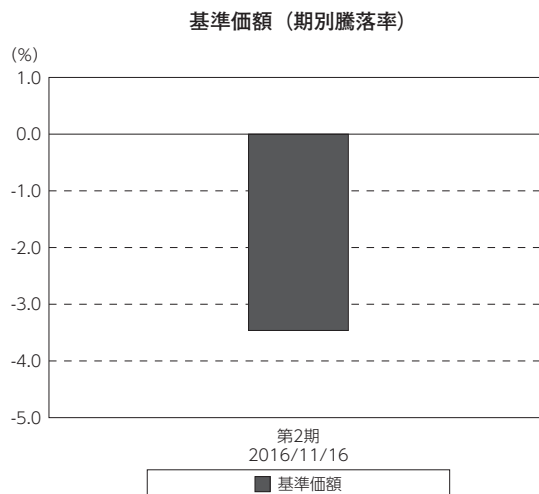
- ・指定投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持しました。期末時点では、2頁「組入投資信託の状況」の投資比率となっています。
- ・効率的な運用を行うために、市況動向、対象銘柄の運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、適宜投資比率の見直しを行いました。
- ・過度なリスクを抑えながら長期的かつ安定的な運用を行うため、特定の銘柄への投資比率が過度に偏らないよう、適宜調整を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年11月17日～2016年11月16日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2015年11月17日～2016年11月16日)

基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見送りいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第2期 |
|-----------|-----------------------------|
| | 2015年11月17日～ 2016年11月16日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | — |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、主として、内外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指し、以下の原則に基づいて運用を行います。なお、資産配分については、いちよし証券株式会社の助言を受けたうえで決定します。

- ・指定投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- ・効率的な運用を行うために、市況動向、対象銘柄の運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、適宜投資比率の見直しを行います。
- ・過度なリスクを抑えながら長期的かつ安定的な運用を行うため、特定の銘柄への投資比率が過度に偏らないよう、適宜調整を行っていきます。

投資対象とする投資信託証券については、収益機会の追求やリスクの分散などを目的として適宜見直しを行います。この際、定性評価や定量評価などを勘案のうえ、投資信託証券を新たに指定し、又は既に指定されていた投資信託証券を除外する場合があります。

お知らせ

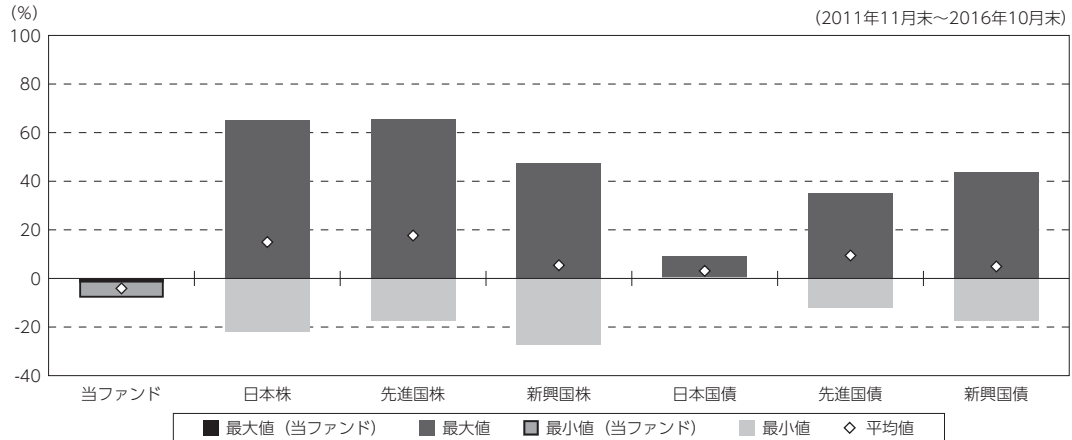
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／債券 |
| 信託期間 | 2015年2月27日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 複数のファンドに分散投資を行う、ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 内外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <ol style="list-style-type: none"> ①主として、内外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ②投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持しますが、景気動向や市況動向を勘案して低位になることがあります。 ③資産配分および投資対象とする投資信託証券の組入れについて、いちよし証券株式会社の投資助言を受けます。 ④投資対象とする投資信託証券については、収益機会の追求やリスクの分散等を目的として適宜見直しを行います。この際、定性評価や定量評価等を勘案のうえ、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を外したりする場合があります。 ⑤内外のETF（上場投資信託）に投資する場合があります。 |
| 分配方針 | <p>毎年11月16日（休日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等の理由により分配を行わないことがあります。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|--------|--------|--------|------|--------|--------|
| 最大値 | △ 1.7 | 65.0 | 65.7 | 47.4 | 9.3 | 34.9 | 43.7 |
| 最小値 | △ 7.9 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | 0.5 | △ 12.3 | △ 17.4 |
| 平均値 | △ 4.1 | 15.0 | 17.7 | 5.4 | 3.1 | 9.4 | 4.9 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年11月から2016年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2016年2月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年11月16日現在)

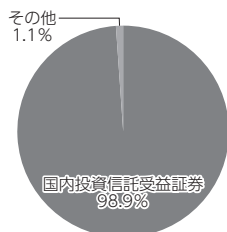
○組入上位ファンド

| 銘 柄 名 | 第2期末 |
|---|------|
| | % |
| アライアンス・バーンスタイン・エマージング債券ファンドW(適格機関投資家専用) | 18.3 |
| ニッセイ日本物価連動国債ファンド(適格機関投資家専用) | 17.6 |
| ノムラFOFs用インデックスファンド・新興国債券(適格機関投資家専用) | 14.6 |
| その他 | 48.5 |
| 組入銘柄数 | 13銘柄 |

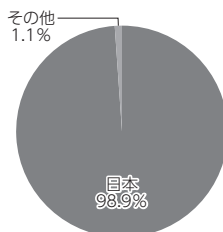
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

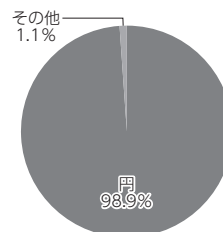
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項 目 | 第2期末 | |
|-------------|-----------------|--|
| | 2016年11月16日 | |
| 純 資 産 総 額 | 14,480,251,774円 | |
| 受 益 権 総 口 数 | 15,785,205,134口 | |
| 1万口当たり基準価額 | 9,173円 | |

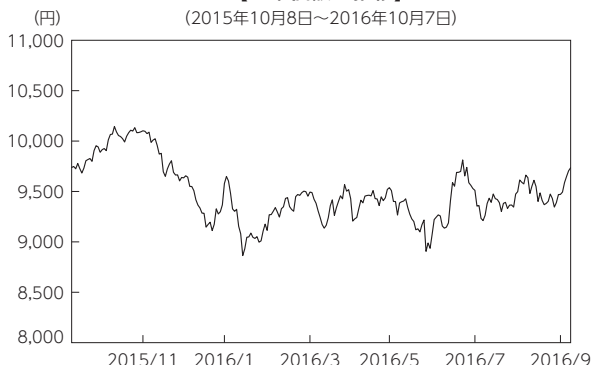
(注) 期中における追加設定元本額は11,209,250,467円、同解約元本額は392,011,811円です。

組入上位ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・エマージング債券ファンドW (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2015年10月8日～2016年10月7日)



(注) 上記グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2015年10月8日～2016年10月7日)

| 項 目 | 当 期 | |
|--|------------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 78 (72) (1) (5) | 0.821 (0.756) (0.011) (0.054) |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | 0 (0) | 0.001 (0.001) |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他) | 9 (2) (1) (6) | 0.092 (0.016) (0.016) (0.060) |
| 合 計 | 87 | 0.914 |

期中の平均基準価額は、9,559円です。

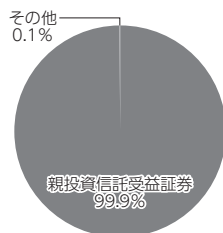
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位ファンド】

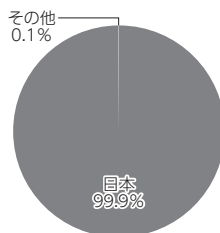
| 銘 柄 名 | 第2期末 |
|-----------------------------|--------|
| アライアンス・バーンスタイン・新興国債券マザーファンド | 99.9 % |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

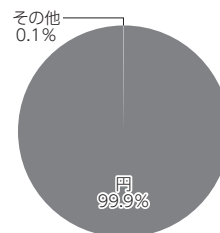
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



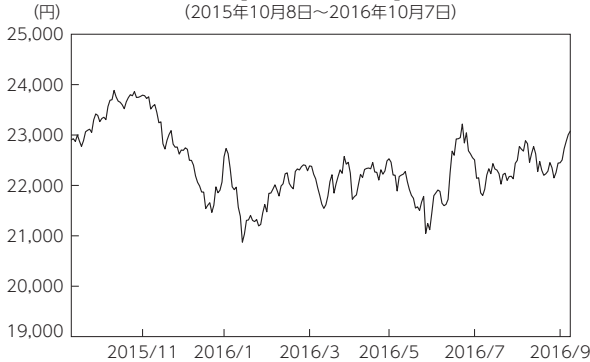
(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2016年10月7日現在のものです。

＜ご参考＞ アライアンス・バーンスタイン・新興国債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年10月8日～2016年10月7日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年10月8日～2016年10月7日)

| 項目 | 当期 | |
|---------------------------|-----------|------------------|
| | 金額 | 比率 |
| | 円 | % |
| (a) 売買委託手数料 (先物・オプション) | 0 (0) | 0.001 (0.001) |
| (b) その他費用 (保管費用) | 12 (4) | 0.055 (0.016) |
| (その他) | (9) | (0.039) |
| 合計 | 12 | 0.056 |

期中の平均基準価額は、22,563円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

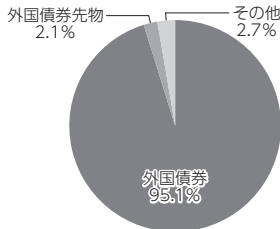
【組入上位10銘柄】

| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|--|----------|---------|----------|------|
| 1 REPUBLIC OF BRAZIL 10% 2027/1/1 | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 3.8% |
| 2 10YR T-NOTES | 債券先物(売建) | 米ドル | アメリカ | 2.1 |
| 3 REPUBLIC OF TURKEY 4.875% 2043/4/16 | 国債証券 | 米ドル | トルコ | 2.1 |
| 4 RUSSIAN FEDERATION 4.5% 2022/4/4 | 国債証券 | 米ドル | ロシア | 1.9 |
| 5 REPUBLIC OF BRAZIL 5% 2045/1/27 | 国債証券 | 米ドル | ブラジル | 1.5 |
| 6 REPUBLIC OF ARGENTINA 8.28% 2033/12/31 | 国債証券 | 米ドル | アルゼンチン | 1.5 |
| 7 REPUBLIC OF ARGENTINA 6.875% 2021/4/22 | 国債証券 | 米ドル | アルゼンチン | 1.5 |
| 8 UNITED MEXICAN STATES 4.125% 2026/1/21 | 国債証券 | 米ドル | メキシコ | 1.4 |
| 9 UNITED MEXICAN STATES 4.6% 2046/1/23 | 国債証券 | 米ドル | メキシコ | 1.4 |
| 10 IVORY COAST 5.75% 2032/12/31 | 国債証券 | 米ドル | コートジボワール | 1.2 |
| 組入銘柄数 | | | 229銘柄 | |

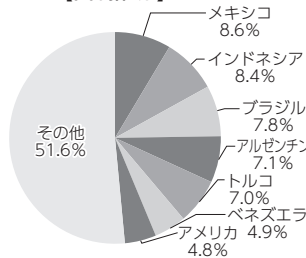
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

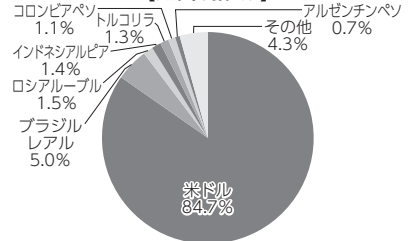
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。

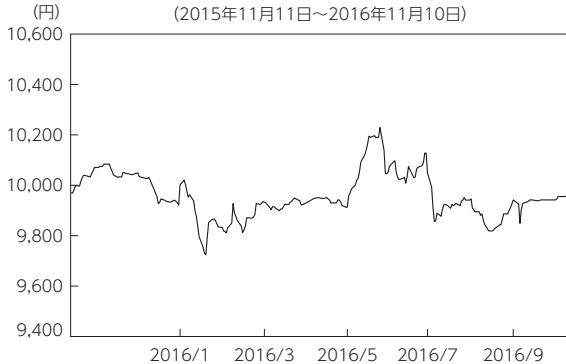
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2016年10月7日現在のものです。

◆直物為替先渡取引

| 銘柄別 | 取引契約残高 | | | |
|-------------|----------|--------|-------|--------|
| | 当期未想定元本額 | | | |
| | 買建額 | | 売建額 | |
| | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| 米ドル | 千米ドル | 百万円 | 千米ドル | 百万円 |
| (アルゼンチンペソ) | 1,003 | 104 | — | — |
| (ブラジルレアル) | — | — | 4,591 | 476 |
| (コロンビアペソ) | 2,525 | 262 | 2,904 | 301 |
| (インドネシアルピア) | — | — | 1,242 | 128 |
| (インドルピー) | 3,155 | 327 | 3,147 | 326 |
| (ロシアルーブル) | 503 | 52 | 3,629 | 376 |

ニッセイ日本物価連動国債ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 上記グラフは分配金再投資基準価額です。

【組入上位ファンド】

| | 第2期末 2016年11月10日 |
|---------------------|---------------------|
| ニッセイ日本物価連動国債マザーファンド | 100.0% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）等に記載しております。

【1万口当たりの費用明細】

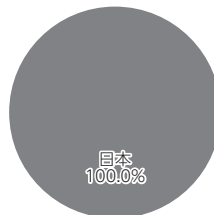
(2015年11月11日～2016年11月10日)

| 項 目 | 第 2 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| | 円 | % | |
| 信 託 報 酬 | 25 | 0.248 | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×期中の日数/年間の日数 |
| (投 信 会 社) | (17) | (0.173) | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販 売 会 社) | (5) | (0.054) | 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.022) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| そ の 他 費 用 | 2 | 0.021 | その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (2) | (0.021) | 監査にかかる監査法人等に支払う費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | ・信託事務の諸費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息:受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合(立替金も含む)に発生する利息 |
| 合 計 | 27 | 0.269 | |
| 期中の平均基準価額は、9,959円です。 | | | |

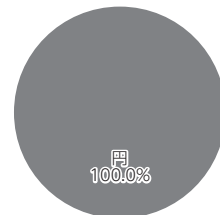
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

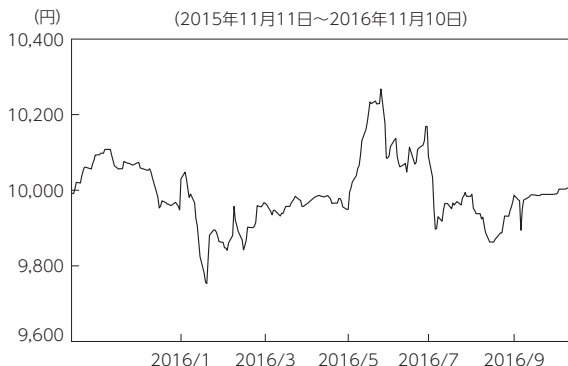


(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2016年11月10日現在のものです。

<ご参考> ニッセイ日本物価連動国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【組入上位10銘柄】

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 % |
|------------------|-----|------|
| 第20回 物価連動国債(10年) | 円 | 33.1 |
| 第17回 物価連動国債(10年) | 円 | 24.2 |
| 第21回 物価連動国債(10年) | 円 | 18.3 |
| 第19回 物価連動国債(10年) | 円 | 15.0 |
| 第18回 物価連動国債(10年) | 円 | 9.3 |
| 組入銘柄数 | 5銘柄 | |

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)等に記載しております。

【1万口当たりの費用明細】

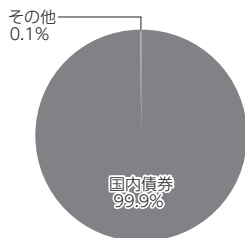
(2015年11月11日～2016年11月10日)

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|----------------|---------------|-----------------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| その他費用 (その他) | 円 0 (0) | % 0.000 (0.000) | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 ・信託事務の諸費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息:受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合(立替金も含む)に発生する利息 |
| 合計 | 0 | 0.000 | |

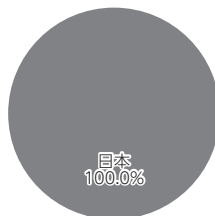
(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 「比率」欄は、「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(9,994円)で除して100を乗じたものです。

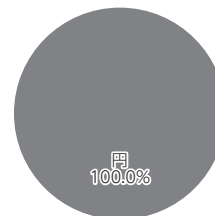
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



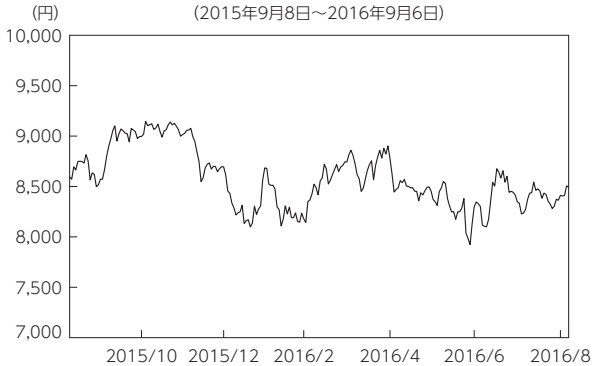
(注) 上記比率は全て純資産総額に対する割合です。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2016年11月10日現在のものです。

ノムラFOFs用インデックスファンド・新興国債券（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2015年9月8日～2016年9月6日)



(注) 上記グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2015年9月8日～2016年9月6日)

| 項 目 | 当 期 | |
|--|----------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 34 (26) (5) (4) | 0.398 (0.302) (0.054) (0.043) |
| (b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他) | 13 (12) (0) (0) | 0.146 (0.143) (0.002) (0.001) |
| 合 計 | 47 | 0.544 |

期中の平均基準価額は、8,596円です。

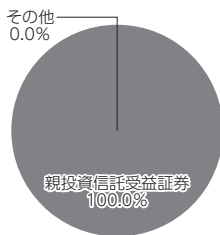
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位ファンド】

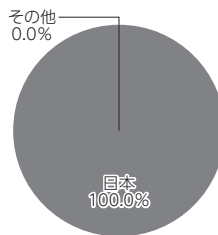
| 銘 柄 名 | 第2期末 |
|----------------------|------------|
| 新興国債券(現地通貨建て)マザーファンド | % 100.0 |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

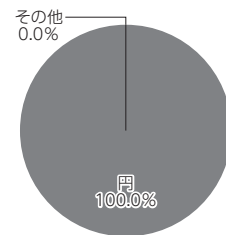
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

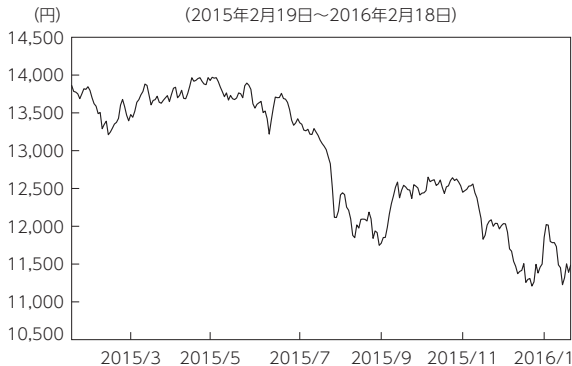
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2016年9月6日現在のものです。

＜ご参考＞ 新興国債券（現地通貨建て）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年2月19日～2016年2月18日)

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------|-------|---------|
| | 金 額 | 比 率 |
| (a) そ の 他 費 用 | 20 | 0.157 |
| （ 保 管 費 用 ） | (18) | (0.143) |
| （ そ の 他 ） | (2) | (0.015) |
| 合 計 | 20 | 0.157 |

期中の平均基準価額は、12,914円です。

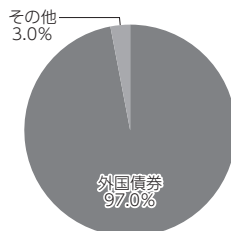
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

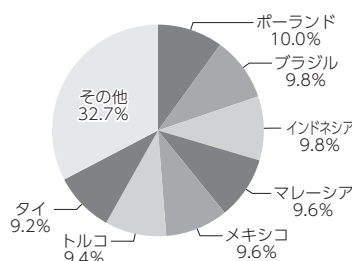
| 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|---|-------------|----------|-----------|------|
| 1 RUSSIA FOREIGN BOND 7.85% 2018/3/10 | 国債証券 | ロシアルーブル | ロシア | 4.5% |
| 2 REPUBLIC OF COLOMBIA 7.75% 2021/4/14 | 国債証券 | コロンビアペソ | コロンビア | 3.6 |
| 3 LETRA TESOURO NACIONAL 0% 2018/1/1 | 国債証券 | ブラジルレアル | ブラジル | 2.9 |
| 4 THAILAND GOVERNMENT BOND 3.65% 2021/12/17 | 国債証券 | タイバーツ | タイ | 2.4 |
| 5 MEX BONOS DESARR FIX RT 4.75% 2018/6/14 | 国債証券 | メキシコペソ | メキシコ | 2.1 |
| 6 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 10.5% 2026/12/21 | 国債証券 | 南アフリカランド | 南アフリカ | 1.9 |
| 7 MALAYSIAN GOVERNMENT 4.378% 2019/11/29 | 国債証券 | マレーシアリンギ | マレーシア | 1.9 |
| 8 THAILAND GOVERNMENT BOND 3.875% 2019/6/13 | 国債証券 | タイバーツ | タイ | 1.9 |
| 9 REPUBLIC OF COLOMBIA 9.85% 2027/6/28 | 国債証券 | コロンビアペソ | コロンビア | 1.8 |
| 10 TURKEY GOVERNMENT BOND 8.8% 2018/11/14 | 国債証券 | トルコリラ | トルコ | 1.8 |
| 組入銘柄数 | | 95銘柄 | | |

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

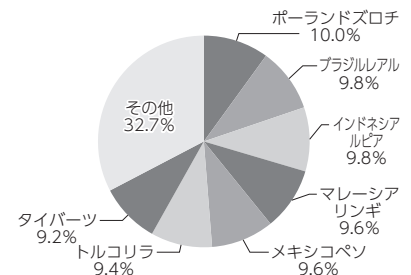
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2016年2月18日現在のものです。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。